

2017 年を振り返って

第3期 OB 横山 嵩

例年になく大寒波が押し寄せていると連日ニュースで放映されている中、まだ今季一度も部屋の暖房をつけずにすんでいる環境に優しい第3期横山です。

さて、毎年こちらの寄稿では昨年1年間の出来事など徒然と書かせていただいておりますが、昨年の寄稿で大きく仕事が変わったと書かせていただいたその直後の4月に所属している会社が分社化することになり、現在は SHIBUYA109 を専業に運営する新会社にて勤務しています。

前会社から引き続きの部分も多かったので実質1年3か月程度経ち、だいぶ仕事にも慣れてきた部分はあるものの、まだまだこれからという状況かなと思っています。ターゲットは若者なので積極的に現役の学生（中学生から大学生まで）の声を拾おうと調査活動を展開していますが、その中で、グループインタビューを現役小野ゼミ生にご協力いただき実施することができました。（その節は先生と現役生のみなさまには大変お世話になりました、この場を借りて御礼申し上げます）グループインタビューは自分が質問者だといろんな意味でダメだと思ったので（笑）、同僚にお任せしまして実施していただきました。終わった後、どうだったか聞いたところ、まず冒頭で聞きやすい質問からと思い「暇な時間って何していますか」、と聞いたところ「ゼミ活動です」「ゼミ活動が忙しくて暇な時間とかないです」という想定外の回答があったので同僚はかなり動揺したとの事で、小野ゼミ生らしいなと思わず笑ってしまいました。

次は夏の遠泳合宿についてです。これは慶應幼稚舎6年生を対象とした学校行事であります。それをボランティアコーチとして毎年お手伝いさせていただいております。元々、当方は幼稚舎出身 OB ではありませんが、普通部にて同様の水泳学校を長年コーチとしてやらせていただいております。先生よりお声掛けを



遠泳合宿地の千葉の館山にて。白黒でわかりにくいですが、著者の肌の色は黒い。

頂き、ここ5年参加させてもらっています。毎年生徒6名～8名程度で構成される班を率いて4泊5日行動を共にし、4日目に遠泳にチャレンジするというのが期間中の一番大きなイベントとなっています。

毎年、日吉での事前練習があり、そこで自分の受け持つ生徒と初めて会うのですが、事前に渡された受け持ち生徒リストに「小野」の文字が…そう、まさかの先生のご子息の担当コーチになってしまいました。小さいころからよくOB会などにも先生が連れてきていたので知っていましたが、何かちょっとよく分からないプレッシャーがかかったのは言うまでもありません。

そんなこんなで始まった遠泳合宿ですが、なんとか無事に終わり、ご息も見事遠泳完泳して無事にお返しすることができまして何よりだったと思っています。(ご息が第15期のゼミTシャツを着ていたのも印象的でしたね)

アメリカンフットボールについても引き続き続けておりましたが、昨年は優勝を狙っていたもののリーグ3位とあまりふるわず、今年はまた気持新たに頑張ろうと思っています。

ジャズのビッグバンドについては、昨年はすみだJAZZで国技館の前で演奏したり、横浜JAZZプロムナードでみなとみらい駅上の当社グループ施設内で演奏させてもらえたりと楽しい演奏機会を得ることができた1年だったかと思います。

そんな感じで過ごした1年でしたが、今年も皆さんどうぞよろしくお願ひします。



アメフト試合中の1コマ。
著者は中央上で2名に覆いかぶさっている。



同い年のチームメイトとの1枚。若手に負けず頑張っています。
(著者は中央)